

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	和歌山県立日高高等学校附属中学校	池田 尚弘
学校所在地		
〒 644-0003 和歌山県御坊市島45番地 tel 0738(22)0500 fax 0738(22)6111		
担当者名	役職名・担当教科	
岩淵 大	教務主任・第2学年主任・理科	
<p>〔学校の概要〕</p> <p>和歌山県立日高高等学校は「受け継がれる伝統・輝く未来」を合い言葉に、本年で105年の歴史を持つ日高地方の教育の中核を担う伝統校である。</p> <p>学力の向上を図り人格の基礎を築く「志学」、豊かな体験に基づく想像力を育成する「創造」、共生・共存・共和の心を育み情操を培う「敬愛」を基本理念とする。</p> <p>平成20年に併設型中高一貫教育校として本校が設置され、6年間の一貫した教育活動を通して課題を総合的・科学的に解決できる「総合的な人間力」を身につけた、社会に貢献できるリーダーとしての人材の育成を目指す。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
2年生 40名	職員 3名	熊野本宮館 熊野本宮大社 熊野古道
実践研究テーマ		
論理的思考力・判断力・表現力の育成 ～課題の発見と解決に向けた主体的・対話的で深い学びを通して～		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	他者と社会の関わりから学ぶ	
〔キーワード〕 世界遺産学習 ふるさと学習 国際理解 情報活用能力 コミュニケーション能力		
<p>〔単元目標〕</p> <p>① 課題を設置する力 ア 追求する課題を見つけ、設定することができる。 イ 学習を振り返り、新たな課題を見つけることができる。</p> <p>② 情報を収集・整理する力 ア 情報を収集・整理・分析し、探究的かつ論理的に考察することができる。</p> <p>③ まとめ、発信する力 ア 目的にあった有効な手段を選択し、まとめることができる。 イ 調査したことや自分の考えをわかりやすく相手に伝えることができる。</p> <p>④ 自己の生き方を考える力 ア 様々な体験や学習を通して学んだことを、自らの生き方に生かすことができる。 イ 自らの生き方を他の生き方に照らし合わせ、より良く生きることについて考えることができる。</p>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 70時間 （「後世に残したい・伝えたい日高の〇〇『日高遺産』」 25 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
和歌山県世界遺産センター ……世界遺産入門 次世代育成事業（現地学習等）		
道成寺、興国寺、日高別院、小竹八幡神社、寺内町会館、美浜町役場、日高川町役場、広川町役場等 ……地域の文化財・歴史等に関する調べ学習のための取材依頼・協力要請		

実践に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	1. 「日高クエスト」について 2. 現地事前調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のねらいを知らせる。</li> <li>・熊野古道、熊野本宮大社等について調べ、興味・関心を高めさせる。</li> </ul>	(課題を設置する力) 行動観察 (情報を収集・整理する力) 行動観察・ワークシート
2	1. 情報の整理 2. 事前発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べた内容をプレゼンテーションソフトを用いて、聞き手を意識してわかりやすく説明できるように工夫させる。</li> <li>・グループ毎に発表し、自己評価させ、工夫改善につなげる。他グループの発表を聞かせることで、理解を深めさせる。</li> </ul>	(情報を収集・整理する力) 行動観察・ワークシート (まとめ、発信する力) 行動観察・ワークシート
3	「日高クエスト」 ・世界遺産講座 ・外国人インタビュー活動  ・熊野古道現地学習 (三軒茶屋跡～熊野本宮大社コース)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産についての知識を深めさせる。</li> <li>・異文化理解を深めるとともに英語運用力を高めさせる。</li> <li>・熊野の自然や歴史を体感させる。</li> </ul>	(自己の生き方を考える力) 行動観察 ワークシート 自己評価
4	1. 「日高遺産」について 2. 「日本遺産」について 3. ふるさとの魅力を探る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のねらいを知らせる。</li> <li>・日本遺産について調べさせ、興味や知識を広げさせる。</li> <li>・世界遺産に負けない地域の魅力について話し合い、探求テーマを設定させる。</li> </ul>	(課題を設置する力) 行動観察 (情報を収集・整理する力) 行動観察・ワークシート (課題を設置する力) 行動観察・ワークシート
5	1. 情報収集活動と取材の計画 2. 現地取材の実施 3. 情報発信の計画と実施 4. 活動の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに関する情報を調べさせ、現地取材のために必要な情報を収集させる。</li> <li>・取材のためのアポイントメントを電話やeメール等で連絡させ、インタビューや写真撮影のために現地を訪問させる。</li> <li>・収集した情報を生かして、ポスターやパンフレット等を作成し、PR活動を行わせる。</li> <li>・体験を通して学んだことやふるさとの地域について更に興味を持ったこと等、活動を振り返り、今後の学習につなげる。</li> </ul>	(課題を設置する力) 行動観察 (情報を収集・整理する力) 行動観察・ワークシート (まとめ、発信する力) ワークシート (自己の生き方を考える力) ワークシート 自己評価

〔単元学習の成果と課題〕

(成果)

- ・本県が誇る世界遺産の学習・体験を通して、故郷の発展に主体的に関わろうとする姿勢を高めることで、自ら課題を設置し、追求していこうとする力が身についてきた。
- ・設置したテーマに関する情報を効果的に収集・整理し、論理的に考察する力も付いてきた。
- ・地域の文化や歴史、特産物等に関する情報収集活動や現地取材を通して、地域理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の向上を図ることができた。

(課題)

- ・情報発信の計画と実施、および活動の振り返りをする時間が確保できなかった。そのため、来年度修学旅行で訪問するトルコ大使館で、英会話によるPR活動を計画している。
- ・時間配分や計画等、総合的な学習の時間にかかる授業数の確認や見直しが必要であると考えられる。

〔世界遺産学習の効果〕

- ・調べ学習(図書、インターネット)を通して世界遺産についての興味・関心が高まり、知識を広げることができた。
- ・世界遺産センター「熊野本宮館」における世界遺産講座や熊野古道現地学習を通して、世界遺産についての興味や関心が更に高まると共に、現地で実際に自然や歴史にふれることで理解が深まるなど、世界遺産学習の素地を養うことができた。
- ・外国人インタビュー活動による自国の文化の発信を通して、異文化理解を深めるとともに英語運用力を高めさせる良い機会になった。
- ・世界遺産学習を通して得られた知識をもとに、ふるさとの地域の文化財や歴史、特産品などの魅力に目を向けさせることができただけでなく、「日本遺産」があることなど、視野を広げる良い機会となった。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

- ・世界遺産が今後も維持されていくために、私たちにできることを考えさせる機会を与えるなど、保全活動について考察させたい。
- ・今年度の活動で得られた情報や知識をまとめ、ふるさとの魅力を多くの人に知ってもらうためのPR活動を実施すると共に、日本遺産登録申請を行っている道成寺(日高川町)と連携した学習活動を模索し、地域振興に貢献させることで、ふるさとの伝統や文化を尊重する態度や自己有用感を高めさせていきたいと考えている。



〈世界遺産講座〉

世界遺産講座では、図を多く用いて西洋と日本の違いや世界遺産のしくみについて知ることができた。難しい内容だったが、わかりやすい説明だったので理解しやすかった。特に神仏融合について、最初に日本と西洋の考え方の違いを教えて下さったので、話しの流れが良くてわかりやすかった。

世界遺産講座は、事前学習では知ることのできなかつたヨーロッパと日本の神や人間、自然への考え方の違いなど、多くのことを知ることができて良かった。

今回の学習で、熊野のことや世界遺産に興味を持ちました。講座をしてくれた方がとても面白いし、図での説明もあってわかりやすかったです。また、世界遺産ということもあって観光客によるポイ捨てなどもあります。世界遺産の環境を守るために地域の方々が保全活動として道普請などを協力しているし、そのような人たちが増えているということがとてもいいなと思いました。

〈外国人インタビュー活動〉

外国人インタビューでは、写真を使い、外国人の人にわかりやすく伝えられたと感じることができ、質問にも答えてもらうことができて1年生の時よりも上手く外国人インタビューができたと感じました。今回は1組にしか話せなかったの、次はもっとたくさんの人に話せるようにしたいです。

外国人インタビューでは、2組の外国人とコミュニケーションをとることができた。どの方も目を見て話を聞いたり、相づちを打ってくれたりしてくれたので、今後、私も見習ってそうできるようにしたい。

外国人インタビューは時間が少なく、1組にしかインタビューができなかった。でも、その方々はとても優しく、快く受け入れてくれた。やっぱり外国の人は心が広い人が多いんだなと感じた。平日ということもあって観光客は少なかったが、より多くの人に熊野古道の自然や歴史について実際に知ってもらいたいと思う。



〈現地学習〉

熊野古道はとても興味深いものだと感じました。私は今まで熊野古道はただの険しい道としか思っていまらなかったが、実際に歩き、学習してみて、どうして昔の人が熊野古道を歩いたのかということを知ることができました。

熊野古道はこのような機会がないとずっと歩くことはなかったと思うので、良い経験になった。雨の影響で足元が歩きにくかったが、実際に歩くことで、自然や文化、歴史を身近に感じる事ができた。自分たちの住んでいる和歌山のことをより知識を深め、学んだことを今後の活動に生かしていけたらいいと思う。

初めて歩いた熊野古道は、予想以上に山道だった。昔の人々はこれ以上の険しい道を、わらじで何十kmも歩いていたと思うと、本当にすごいと思うし、命がけだったことがわかった。